

The Expert



平成28年4月10日発行

● 栄養治療センター部長・栄養部部長 鷺澤 尚宏 教授(昭和61年・東邦大学卒)

あきらめない栄養療法の展開

東邦大学医学部旧外科学第1講座で一般消化器外科の研鑽を積み、急性期外科診療における代謝栄養学を学びました。この経験を生かし、2000年から設立準備を始めた栄養サポートチーム（Nutrition Support Team : NST）は、2004年に病院の正式な組織に組み込まれ、2010年からは関谷秀樹リーダーが率いる摂食嚥下障害対策チームとの協力体制を確立することで栄養治療センターを誕生させました。一方で、2012年からは伝統ある東邦大学医療センター大森病院栄養部部長に就任し、病院全体の栄養管理全ての責任者を仰せつかることとなりました。

栄養療法の基本は食べることです。可能な限り経口摂取で管理するべく、個々の患者さんに起きている摂食の問題をチーム医療の力で解決するようにしています。召し上がっていただく食事は、一般食から特殊治療食まで様々ですが、栄養部に所属している管理栄養士や栄養士、調理師たちとディスカッションを繰り返し、治療効果の上がりやすい食事を考案し続けています。ただ、入院中の患者さんは個々に嗜好が異なり、なかなか口に合わず喉を通らないという状況も生じます。そこで、当院では病棟担当管理栄養士による状況調査と評価によって患者さん一人一人に合わせた食事提供を行っております。他院と比較すると多くの個別対応が実現できておりますが、疾患治療が優先ですので、時々、患者さんを激励して食べていただくという心の援助も行っております。

病状によって、十分な栄養素が摂取できない場合は、時機を逸すること無く、経腸栄養用カテーテルというチューブを使った経管栄養を開始します。一般的には胃ろうを使った方法が有名ですが、一時的な使用であれば経鼻胃管を使った方法が選択され、必要に応じて胃ろうから小腸へカテーテルを送り込んだり、頸部食道から胃や小腸にカテーテルを送り込んだりする特殊ルートを用います。さらに静脈栄養と組み合わせることで総合的な栄養療法を展開し、口からの摂食がうまくいかないことで疾患治療を諦めることが無いよう、合併症対策を含め、万全の体制を敷いています。医師、歯科医師、看護師、管理栄養士、栄養士、調理師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士などが展開するチーム医療は、患者さんの基礎力をレベルアップし、薬物療法や手術療法の効果が十分に発揮されるため、極めて有効な補助的治療手段となっています。

● 診療予約

診療のご予約は、下記までご連絡下さい。
診療日・診療時間をご案内いたします。

● 診療日

鷺澤 尚宏 教授：初診 土曜日（第1週）
再診 木曜日
金曜日

医療機関専用電話

パートナー

03-3762-6616 (直通)

(受付時間 平日 8:30~17:00、土曜 8:30~14:00)

(休診日:第3土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・創立記念日6/10)



東邦大学医療センター大森病院
Toho University Omori Medical Center
〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1
03-3762-4151 (代表)
<http://www.omori.med.toho-u.ac.jp/>
発行元：地域医療支援センター